



皆様、日々のお務めお疲れ様でございます。社内向け情報誌、第61号です。

夏越の祓、茅の輪くぐり



来月は今年の上半期最終月です。新年から年度末になり、年度初めから5月連休と続きますので、毎年「もう6月!」今月で今年の半分終わり!となることが多いものです。そんな6月末は、今年の残り半分を改めてしっかり過ごすためにも大きな行事があります。それが、大祓。



これ、見たことがある方もいらっしゃるでしょう。こちらは宮崎天満宮の茅の輪です。6月下旬になると準備開始です。

なごしのはらえ、ちのわくぐり



夏越の祓は、一年の半分の最終日である晦日の6月30日に、上半期で身に溜まった穢れを落とし、残り半年を無事に過ごせるよう祈願する神事です。そのため下半期の晦日である大晦日は冬の大祓（おはらえ）、年越の祓（としこしのはらえ）と呼ばれています。一般的に大晦日は新年の初詣の準備で大忙しなのでこの茅の輪を見ることはあまりないようです。そのためぐってみたい方は、是非この夏のタイミングに!

神社の個性が出る茅の輪

一般的には、神社の本殿の手前の参拝所に茅の輪が設置されていることが多いです。大きさも様々で、人の背丈よりも大きいものもあれば、かまないと通れない子どもサイズのようなものもあります。あつという間に上半期が過ぎてしまいうだ、と思われる方は、カレンダーを再認識するためにこの茅の輪くぐりをオススメします。茅の葉の草の香りも清々しいですよ。

ふるさと納税

ちょこっとSDGs



今月は、ふるさと納税とも関わりのある、別角度でのお話です。

寄付のご経験は?



寄付、という言葉聞いて最初に思い浮かぶのは何ですか? 年末になると赤い羽根の歳末助け合い運動があったり、春休みや夏休みの前になるとスポーツ系で小学生の全国大会の遠征費募金があったり、スーパーやコンビニに設置されている募金箱で地震などの災害地区への義援金だったり、色々あります。

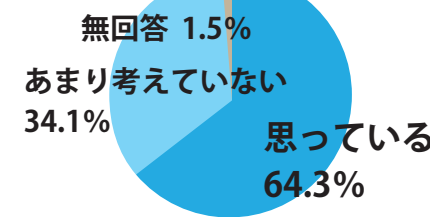
寄付をする人しない人

例えば集めたいと思う目標額があるとき、ほとんどはその目的などに賛同した企業や組織から得られる寄付額が大半を占め、いわゆる街頭募金はその全体の約3割ほどになるのが一般的です。そしてこの3割を構成する「募金した人」というのは、街頭募金を見掛けると募金することが多い、というタイプだということです。そして、街頭募金をしているところを通過する人の数でいえば、募金する人は前を通る人の1%にも満たないというのが実際に数えた結果でも出てくるようです。

良い悪いではなく、文化の差

寄付文化の醸成や社会的投機が進む社会を目指す団体による、寄付白書という調査結果があります。そこによると、おもしろい結果が出ています。

あなたは日頃、**社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか?**



これとは別で、イギリスのチャリティーズ・エイド・ファンデーションという慈善団体が発表した寄付に関して世界の国々を調査分析した報告書「寄付インサイト」によると、年間所得に対する寄付額の割合が、日本は101カ国中世界最低なんだそうです。世界平均は年間所得の1.04%が寄付に充てられていましたが、日本はなんとわずか0.16%。そして寄付した人々の割合は人口の16%でした。寄付する人は偏るようです。この原因には宗教も関係しているそうです。キリスト教圏では給与から寄付額が引かれていたり、イスラム教圏では寄付が義務付けられていたり、他者をいたわり守るといった考えが文化として根付いていることもあるようです。

それでも日本で寄付がここ最近の日常になったのは、阪神淡路大震災から始まり東日本大震災での義援金から支援金になつたあたりからです。ここにふるさと納税の仕組みも加わり、今はまさに、寄付文化が醸成しつつある過渡期なんです。それでは来月も皆さん、ご安全に頑張りましょう!

「**これまでアリがどう**」
みやこ専務の



おつかれさまです。春から夏へと季節の変わり目がこの月です。雨が降り続く梅雨に入り、高温多湿で過ごしにくくて何をやるにしても億劫になります。何とか乗り切って頑張りましょう。

第三日曜日は「父の日」。父の働きがあったの私たち家族です。感謝の気持ちを伝える良い機会です。「ありがと」の一言を。

この頃の値上げ、ホルムズ海峡での原油問題など、その上に殺人事件と毎日のように報道され、残念ながらまたかと思ってしまう。地に足を踏ん張り、健康に注意し元気でいることが大切です。最新の気配りで安全運転をお願いします。

【6月のお誕生日】

- 11(木) ○○○○さん
- 19(金) ○○○○さん
- 22(月) ○○○○さん
- 22(月) ○○○○さん
- 28(日) ○○○○さん
- 30(火) ○○○○さん

